

JEAS News

vol. **36**

2022 春号

ユーザー様事例紹介と市場規模調査特集号 …科学保安講習と推奨顔認証制度で負の連鎖を断つ…

☆なるほど!万引防
止・ロス対策情報は
JEAS Facebook



☆月2回定期配信
ロス対策メールマガ
ジン



～防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

* 感謝 総会員数が51の工業会となりました。*



※JEASメンバーの胸にある感謝の念を込めた
20周年記念バッジです。

認定個人情報保護団体

工業会 日本万引防止システム協会

JEAS News

第36号

目次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	2
あいさつ 工業会 日本万引防止システム協会 会長 稲本義範	3
あいさつ 警察庁生活安全局生活安全企画課 都市防犯対策官 今井俊博様	4
特別投稿 JEAS 創立20周年に思う 福井昂 JEAS 顧問・前総務委員長	4
特集1：ユーザー様のお声・その運用事例から学ぶ	5
特集2：工業会初！ AI カメラ市場規模と安全措置の調査協力をお願い	6
特集3：科学保安講習会と推奨顔認証システム認定<マスク対応プラス>を終えて	8
特集4：今こそ、ロス・プリベンションへの取り組みを！ 近江元 JEAS 副会長	9
新規会員あいさつ	11
新担当者あいさつ	11
セキュリティショー2022に参加& JEAS セミナー開催	11
海外から来られた新たな仲間 (No.3)	12
工業会 JEAS セミナー	13
15分勉強会	13
編集後記・事務局だより	13
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	14
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	表3
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿 ご相談窓口について	表4

EAS、カメラ分野を担当する工業会として

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野: 電子商品監視機器 (EAS)、防犯カメラ] に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置 (地方税)」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」(<http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>)を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。
- (4) さらに、2017年度税制改革により中小企業等経営強化法と2018年度生産性向上特別措置法 (市町村の判断により、新規取得設備の固定資産税が最大3年間ゼロになる)の先端設備等に係る生産性向上要件の証明証が一本化されました。当協会の会員および会員外の設備メーカーも申請できますので、ご活用ください。2018年11月5日に申請フォームが変更になっております。
- (5) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2023年3月31日まで延長されることとなりました。
詳しくは工業会ページをご参照ください。<http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>



JEAS Facebook も絶賛公開中！

<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>





いつも大変お世話になっております。新たな年が始まり、1ヵ月が過ぎました。

平成14年設立のJEASは、平成30年には、経済産業省よりEASと防犯カメラ分野の工業会の指定を受け、令和2年には個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数51法人の産業団体に成長しております。

最近の万引犯罪の状況ですが、我が国の全刑法犯認知件数に占める万引の構成比は平成14年の4.9%から令和2年の14.2%へと悪化しています。その内実を一つ紹介いたします。

保安警備は小売業では必要な業務です。しかしながら、このような危険性がある上に、誤認逮捕などのリスクのあるため、保安会社の廃業や保安業務をやめる警備会社が出てきており、保安業務を頼みたくても近隣に保安会社が無い地域が散見されるようになっております。

結果として、万引犯を確保する役割が一部では従業員が担うようになってきております。万防機構が行った調査では、平成20年には、万引犯を確保したのは保安警備員の確保が93.3%（自社の従業員6.0%）だったものが、令和3年調査では、保安警備員が83.5%（自社の従業員12.3%）となりました。捕捉する機会が増えている従業員の身体的リスクが高まっており、未然防止の施策だけでなく捕捉対応時の安全訓練が必須になっております。しかし、そのようなリスクの高い売場にはそれを教えるプロ保安員がもういないという負の連鎖が起っています。

JEASでは保安の実情を我が事としてお聞きし、負の連鎖を断ち切る打開策として、進化する顔認証システムを活用した第1回科学保安講習会を昨年10月22日に開催しました。科学保安講習会では、当工業会が認定した顔認証システム<マスク対応プラス>4機種の実践的活用方法に加え、個人情報保護法遵守の内容が織り込まれました。参加いただいた32名全員より「大変良かった」のアンケート結果をいただきました。自由意見には、「マスク対応の推奨顔認証システムは警備にとって心強い味方だ！と感じました。」「市川ビルのロス削減の話（施設警備と保安警備の連携）がとても興味深く感じました。」「防犯目的での範囲を超えないようにデータの取り扱いに注意したいと思います。」「今回学んだことをお客様にも知っていただき、店舗に応じた改善策を提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。」などがありました。

今年も会員のニーズを確認しながら、より実践的な科学保安講習会を開催したいと思います。そのためには保安警備や本部管理の業務フローをよくお聞きし、AI技術が活用できるよう基礎項目の精査と再現性の確認を行って行くように諮ってまいります。

工業会のもっとも重要な責務である万引防止システムの市場調査を2月に行います。前回の顔認証システムの市場調査に加えて、AIカメラの会員が多数会員に加わったことを鑑み、今回初めてAIカメラの市場規模と個人情報等の安全措置の調査を行います。調査では会員以外のAIカメラを扱っている企業にも協力をお願いする予定です。AIカメラを扱っているすべての皆様、何卒、ご協力をよろしく申し上げます。

それ以外の予定ですが、個人情報保護法の改正にともない、警備業務の皆様にも活用いただいている「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」と「顔画像を利用した来店客検知システム」の冊子の改定を個人情報保護委員会などの御助言をいただきながら進めております。

3月1日～4日に東京ビッグサイトで開催される日経セキュリティショー2022のJEASブースでは会員各社の紹介をパネル展示、3月3日の特別ステージでは「AIカメラの最新導入事例と個人情報等の安全対策（仮題）」をお伝えする予定にしております。

6月2日開催の通常総会記念講演では、仙台大学体育学部准教授 田中智仁先生に「防犯システムと人的警備の融合～今後の人材育成に向けて～（仮題）」、パナソニック（株）エグゼクティブ イングストリース ペシャリスト 大島 誠氏の「全米小売業に魅せられて30年～小売業界の現在地と未来像～（仮題）」をお伝えする予定にしております。



工業会 JEAS 新事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7階

詳しくは、月2回の定期配信の「ロス対策メールマガジン」で必要情報をお伝えしております。登録はJEASのホームページにある「ロス対策メールマガジン」をご確認ください。(無料)

JEASは、防犯民主主義実現の旗の下、EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立化防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

● ごあいさつ ●

警察庁生活安全局生活安全企画課
都市防犯対策官 今井 俊博 様



令和4年が始まり、1か月が過ぎました。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、平素より警察行政の各般にわたり、御理解と御協力をいただき、心から敬意と謝意を表します。

さて、昨今の我が国の犯罪情勢については、官民一体となった総合的な犯罪対策の推進や防犯機器の普及等により、平成15年以降、刑法犯認知件数が継続して減少しており、指標の上では一定の改善が見られております。

一方で、万引きについては、認知件数は減少傾向にあるものの、全刑法犯に占める割合は増加傾向にあり、ドラッグストアにおいて化粧品等が大量に盗まれる事案など、換金や転売目的と認められる手口も発生しています。昨年は、複合商業施設内において店員が切りつけられる事件や、スーパーマーケットにおいて警備員が刺される事件など、刃物を使用した事件も発生しておりました。こうした状況を踏まえ、都道府県警察においては、ドラッグストアや家電量販店、スーパー、コンビニ等と連携し、万引き防止に向けた研修会や対応訓練を実施して、万引きの起きにくい店舗作りや、万引き等事案が発生した際の対処能力の強化を図る取組を行っています。

万引きを含め店舗における各種犯罪を防止するためには、防犯カメラ、防犯タグの導入等ハード面での対策と、従業員による巡回や来店客への積極的な声掛け等のソフト面での対策を組み合わせることで実施していただくことが、効果的であると考えております。

警察といたしましては、今後も関係機関、事業者等の方々と連携し、万引き防止に関わる諸対策を推進して参りますので、引き続き皆様の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、工業会 日本万引防止システム協会の御発展と、皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

● 特別投稿 ●

JEAS 創立20周年に思う

JEAS 顧問・前総務委員長、全国万引犯罪防止機構 副理事長 福井 昂

2021年はJEASを設立して20年になります。そもそもこの団体を設立した経緯は、2001年に厚生労働省医薬食品局安全対策課、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課、経済産業省商務情報政策局サービス産業課から、「電波の医用機器への影響に関して」の問い合わせが、EAS機器を販売している各社に寄せられました。アメリカで万引防止機器がペースメーカーに影響を及ぼす事例が報告され、「日本ではどうなっているか」という課題が、高千穂交易(株)、(株)チェックポイントシステムジャパン(現:チェックポイントジャパン(株))、(株)エスキューブ(現:マイティキューブ(株))、アイデックコントロールズ(株)(現:IDECファクトリーソリューションズ(株))、住友スリーエム(株)等各社に示されました。

この課題の検討のスタートにあたり、特に経済産業省から、業界をまとめていただきたいとの要請がありました。高千穂交易(株)の戸田常務を中心に各社間で協議を繰り返し、

更にこの時期いろいろな団体の設立に関係されていた経済産業省出身の佐藤顧問のお力をお借りして、2002年に日本EAS協議会を設立する運びになりました。高千穂交易(株)の山村社長に会長をお願いしました。

同時に、2002年に総務省が社団法人電波産業会に委託し「電波の医療機器等への影響に関する調査研究会」が設置されました。植込み型心臓ペースメーカー等装着者が安心して電子商品監視機器と共存できることを目的とした研究会です。この研究会は東京女子医科大学の高倉学長をはじめ関係者総勢70名の方々を5つの分科会に分かれて激しい議論を経て、お互いが共存できる指針を示すことが出来ました。当EAS協議会からは、小泉副会長、土岐研究委員長、長谷基弘氏、石田陽一氏、福井が参加し、5つの分科会をそれぞれ担当しました。EAS機器40種類。ペースメーカー等48種類の総当たり試験を行い、分析を行いました。その結果、“EAS機器導入店表示ステッカー”を2002年12月から、小売店等の出入口等に設置のEAS機器に対し、植込み型心臓ペースメーカー等装着者がEAS機器の設置場所を容易に把握し、万一にも影響が及ぶのを未然に回避することを目的として貼付を推進してきました。この活動は、JEASにとって20年後の今も継続して進んでいます。この間、事故もなく経過しています。

2003年6月に東京都に竹花豊氏が副知事・青少年治安対策本部長に就任されました。万引犯罪を防止するという大事業は、この年の7月に竹花副知事に佐藤顧問と福井が日本EAS機器協議会の立場で万引犯罪の撲滅に関して、お話をさせていただきました。同年の年末の押し迫った12月25日に東京都万引防止協議会が発足しました。その後、2005年6月に日本EAS協議会から、社会的な課題を検討する組織として「全国万引犯罪防止機構」を設立しました。JEASという基盤があったからできた組織であると思います。

JEASはその後、万引防止関係の機器の関係会社の輪が広がり、EAS機器のほかに警備業、顔認証システム関係会社等41社及び特別会員7団体という組織になりました。

名称も「工業会 日本万引防止システム協会」となり、経済産業省、総務省、警察庁、個人情報保護委員会等広く認識される存在となりました。今後さらに、ロス・プリベンションを推進するEAS機器と防犯カメラの工業会としての活躍が期待されています。

セキュリティ産業新聞令和3年5月10日号
JEAS20年史 愛と忍耐と決意*つながる心
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210510.pdf>



特集1：ユーザー様のお声・その運用事例から学ぶ

会員各位にはJEAS新宣言の具体化に向けて、多方面で尽力いただいております。今回はその最新のユーザー様事例を紹介します。JEAS新宣言 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20160602-2.pdf>

●事例1 サツドラホールディングス株式会社様「本社ビル」 非接触式 AI 検温ソリューションで感染症対策の自動化

非接触式 AI 検温ソリューション『AWL Pad』は、瞬時に高精度な検温が可能です。体温検知スピードは僅か0.1秒という世界最速クラスです。マスクや帽子着用時でも精度が高く、検温のための行列を回避し、感染症対策の省人化・自動化をサポートいたします。

導入事例として、サツドラホールディングス様の導入事例をご紹介します。

質問：導入の背景を教えてくださいませんか？

サツドラホールディングス様：2020年9月に移転した新社屋は、コワーキングスペースやシェアオフィス、イベントスペースを備えた北海道最大級のインキュベーション施設を設けています。安心して施設をご利用いただけるよう、感染症対策をしっかりと行いたいという思いがありました。

質問：運用はスムーズに行えていますか？

サツドラホールディングス様：施設の入り口3箇所に設置しています。検温スピードが非常に早く、精度も良いので来訪される方にも好評です。イベント開催時には同時に複数人が来訪されますが、検温のために行列になることもなくスムーズに運用できています。



☆サツドラホールディングス株式会社様
 「地域をつなぎ、日本を未来へ。」のコンセプトのもと、店舗や地域の資産を活かして新たな課題解決型ビジネスの創造を目指している。
 文責：AWL 株式会社 広報部 和田涼子

参考：正しい活用と個人情報に配慮を解説したサーモカメラ・ガイドライン
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20200710.pdf>

●事例2 イシグロ様 企業間の防犯情報連携で地域防犯の実現へ！

防犯情報共有サービス『EMLINX（エムリンクス）』は、小売店向け（盗難）被害情報の緊急通報システムです。企業間において防犯情報を迅速に展開することで、万引などの店舗犯罪を未然に防ぐ、新しいクラウド型サービスです。スマートフォンやタブレット、パソコンで『簡単に！即時に！』近隣店舗と情報共有できます。導入事例として、イシグロ様の導入事例をご紹介します。

質 問：導入後の変化についていかがでしょうか。

イシグロ様：連続窃盗犯、詐欺犯などがエリア内の複数店舗に出入りしていたタイミングで、目新しいシステムということもあり以前よりも情報に敏感になったと思います。同業他社（事案）が増えてくれば、さらに意識が高まると思います。

質 問：EMLINX 運用後の問題解決など事例はありますか。

イシグロ様：被害店舗の把握が画面上でしやすい、警察にも被害状況を伝えやすい。実際、使い始めて4か月でEMLINX 情報から3件逮捕に至りました。

☆株式会社イシグロ様 1952年創業、釣りを中心としたアウトドアレジャー産業を展開。（静岡県・愛知県・岐阜県・滋賀県など東海地方を中心に25店舗の直営店を展開する釣具チェーンストア運営会社）

文責：高千穂交易（株） 事業開発室 池田大良



特集2：工業会初！ AI カメラ市場規模と安全措置の調査協力をお願い

2月下旬に実施する万引防止システム市場規模調査では新たに AI カメラを加えます。新しく加わった調査内容（質問内容のみ）を以下に付記しました。現在、より多くの AI カメラベンダー様に調査協力を依頼しているところです。ぜひ、会報を読まれた AI カメラベンダー企業の皆様には、今回の調査にぜひご協力をお

願います。毎回、アンケートに答えてもらった企業各位には、詳細な報告書を送ります。なお、今回の調査は、画像認識等に精通されている一般社団法人日本自動認識システム協会の協力をいただく予定です。問い合わせメールは infonew@jeas.gr.jp まで。

〈2021年市場調査に新たに加わった点（予定）〉

【問7～問18】は、カメラ、顔認証システム、AIシステムを販売されている企業の方のみお答えください。

（※「顔認証システム」、「AIシステム」とは、製造、販売企業がご紹介またはご提案資料中に、顔認証、AIの採用を明示していれば、“顔認証システム”や“AIシステム”と致します。）

問7 貴社では、2019年、2020年、2021年において、「顔認証システム」を何店舗へ設置されましたか。設置店舗数をお答えください。

問8 【問7にお答えいただいた企業の方のみお答えください。】

2019年、2020年、2021年の貴社の「顔認証システム」の売上（出荷金額）をご記入ください。

問9 【問7にお答えいただいた企業の方のみお答えください。】

販売した「顔認証システム」の利用用途（導入目的）についてご存じでしたら、以下から当てはまるものを選んで番号に○を付けてください（○はいくつでも）。なお、該当する答えが無い場合は「6 その他」に○をつけ、その内容を具体的に記載してください。

- | |
|------------------------------|
| 1 防犯（再犯防止、迷子探し） |
| 2 入退場管理 |
| 3 勤怠管理 |
| 4 マーケティング（集客 UP、インスタマーケティング） |
| 5 サービス向上（混雑予測） |
| 6 その他 具体的に記載してください |

問10 問7でお答え頂いた「顔認証システム」の設置店舗数を100%として、①～④の設置店舗別におおよその割合を記入してください。

問11 貴社では、2020年、2021年において、「AIを活用した店舗システム」を何店舗へ設置されましたか。設置店舗数をお答えください。

問12 【問11にお答えいただいた企業の方のみお答えください。】

2020年、2021年の貴社の「AIを活用した店舗システム」の売上（出荷金額）をご記入ください。

問13 【問11にお答えいただいた企業の方のみお答えください。】

販売した「AIを活用した店舗システム」の利用用途（導入目的）についてご存じでしたら、以下から当てはまるものを選んで番号に○を付けてください（○はいくつでも）。なお、該当する答えが無い場合は「7 その他」に○をつけ、その内容を具体的に記載してください。

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1 防犯（再犯防止、迷子探し） | 6 感染症対策 |
| 2 マーケティング
（集客 UP、インスタマーケティング） | 7 その他（具体的に記載してください） |
| 3 サービス向上（混雑予測） | |
| 4 業務効率化（欠品調査） | |
| 5 省人化（人手不足解消・ロボット） | |

問14 【問11にお答えいただいた企業の方のみお答えください。】

販売した「AIを活用したシステム」で採用されている技術についてご存じでしたら、以下から当てはまるものを選んで番号に○を付けてください（○はいくつでも）。なお、該当する答えが無い場合は「7 その他」に○をつけ、その内容を具体的に記載してください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 人物特定 | 6 データ予測 |
| 2 動線、混雑、人数カウント | 7 その他（具体的に記載してください） |
| 3 属性分析（年代、性別） | |
| 4 動作分析 | |
| 5 棚などの商品在庫・鮮度分析 | |

問15 問11でお答え頂いた「AIを活用したシステム」の設置店舗数を100%として、①～⑭の設置店舗別におおよその割合を記入してください。

問16 販売したシステム（カメラ、顔認証システム、AIシステム）の個人情報に係るデータの保管場所についてご存じでしたら、以下から当てはまるものを選んで番号に○を付けてください（○はいくつでも）。なお、該当する答えが無い場合は「4 その他」に○をつけ、その内容を具体的に記載してください。

- | |
|--------------------|
| 1 店舗設置（カメラ本体含む） |
| 2 ユーザー本部 |
| 3 データセンター |
| 4 その他 具体的に記載してください |

問17 システムのご提案、販売、納品に際し、個人情報保護の観点で取り組まれていること、安全管理措置について教えてください。

問18 JEASが制定した推奨顔認証システム制度についてご存じでしょうか、以下から当てはまるものを選んで番号に○を付けてください（○は1つ）。

※本アンケートの実施はシゴトラボ合同会社に委託しています。同社とは秘密保持を委託契約条項に明記しており、個別のデータが外部に漏れることはありません。

【参考情報】

セキュリティ産業新聞令和4年1月25日号 参加求む 工業会初！AIカメラ市場規模と安全措置の調査
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220125.pdf>

特集3：科学保安講習会と推奨顔認証システム認定<マスク対応プラス>を終えて

令和3年10月22日（金）開催 第1回科学保安講習会と第2回推奨顔認証システムの交付式がおこなわれた。その推進役のメッセージをお伝えします。

●青柳科学保安講習会リーダーより

第一回科学保安講習会を関係者の皆様のお力添えで、32名にご参加いただき無事に終えることができました。関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。JEAS稲本会長が保安警備の実情を聞き打開策を講じる手助けとして進化する顔認証システムを活用した新たな保安警備のサービスを適法に実施できるよう企画されました。顔認証システムを活用するにあたり個人情報保護法など様々なご専門の方々より教をを請い、個人情報保護団体として認定を受け、会員企業が登録できるように工夫され、十分な配慮を基に万引被害で苦しむ小売業の皆様役に立ち進化する技術を十分に保安員が活かせるように考えられた講習会でした。



私は保安警備専門に約三十年経過し、企業の代表者として次世代に保安警備業務を継承していくためには科学の力を活用することが必要であると判断しました。本講習を基に顔認証を活用した科学保安が活躍できることを心から願っております。

●山本カメラ画像安全利用推進委員会ワーキング長より

推奨顔認証システムは2020年に推奨顔認証システムの認定基準作りと第一回の審査を行いました。第二回は本年9月にコロナ禍に増加したマスクを着用した来店客の照合を認定基準に新たに付加した審査を行いました。個人情報にも配慮した仕様となっており小売業の現場において十分にご活用できるものとなっております。今回、システムを現場でご使用になれる皆様に対して講習させていただき理解を深めていただくことでより犯罪予防に役立ていければと考えております。



推奨顔認証システム・マスク対応プラス試験合格機

No.	企業名	製品名
001-2	パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社	FacePRO
002-2	日本電気株式会社	NeoFace KAOATO
003-2	グローリー株式会社	来訪者検知システム
004-2	株式会社GeoVision	Ai FR Server

誕生！ 科学保安・LP 推進店ステッカー1号店 (株)市川ビル 取締役 長田泰文様より

科学保安・LP 推進店ステッカー1号店の件、誠に光栄な話です。弊社内でも情報共有しましたところ、社長の田平も大変喜んでおりました。もっと大きなステッカーは無いのか！と申しておりました。(笑) ビル内外にステッカー掲出の経緯や説明をポスター化させて頂き、掲示出来ればと考えております。JEASの行動力と取り組みが、色々な波及効果を生み始めていると感じます。皆様が利益だけではなく、社会や業界全体のことを考えているからこそでしょう！今後も益々のご活躍を期待しております。

※ IDP 新聞 第121号 (http://www.ichikawa-bil.co.jp/_IDP/idp121.pdf) にて掲載されました。

〈関連情報〉

JEAS 画像安全利活用*警備全国 MAP

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211116.pdf>

セキュリティ産業新聞令和3年11月25日号 内なるLP道 工業会 JEAS 初の科学保安講習会開催

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211125.pdf>

令和3年11月9日個人情報保護委員会主催の認定個人情報保護団体セミナーに稲本会長が登壇

<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/nintei/symposium2111/>



特集4：今こそ、ロス・プリベンションへの取り組みを！ 近江元 JEAS 副会長

ロス・プリベンションの目的

ロス・プリベンション (ロス対策) の意義について考えてみよう。言うまでもなくロス・プリベンションは、包括的にロスを削減する活動を意味する。それにより事業としての収益性を高め、維持しようという活動である。では、その目的はそれだけだろうか。

実は、ロス・プリベンションにはより大きな目的がある。それは、犯罪のない「安全・安心な社会」を実現することだ。犯罪が起きてからではなく、未然に犯罪を防ぐこと、つまり犯罪機会を減じるための活動なのである。また、経済的な損失は、一企業だけの問題ではなく、社会としても大きな損失でもある。全世界で数十兆円規模といわれるロスは、商品価格の上昇や労働生産性の低下などの要因の一部でもある。

社会基盤の重要な部分を占める小売業にとって、犯罪のない社会環境の実現と維持は、当然のことながら事業運営においても非常に重要である。なぜなら地域の住民にとって安全・安心な買物の場を含む生活環境を維持できなければ、小売業は顧客を失うことにつながるからである。

ロス・プリベンションとエコシステム

「エコシステム」という用語が、日本語では「生態系」ということは読者諸氏にはおわかりのことと思う。それを転用して、独立した企業だけでは事業は成り立たず、さまざまなステークホルダー間の相互依存関係が存在するビジネス環境があつてこそ、事業は成り立つといった意味で用いられる。

しかし、サービスやモノをやりとりする関係だけを「エコシステム」の例とするのは、狭小な見方と言わざ

るを得ない。むしろ、競争、競合関係にある企業同士（ここでは同一業態や業態は異なったとしても同じ商品カテゴリーを扱う小売業）が「競い合う」分野と「協力・協働する」分野があるとするの方が实际的であり、また「競い合う」双方に利益を生む。

「競い合う」分野の例は、売上増に直結する顧客の獲得競争だ。品質、品揃え、価格、サービスなどで差別化して、一人でも多くの顧客の一つでも多くの商品を販売するための激しい競争である。それではどの分野で「協力・協働する」ことがあるのだろうか。またすべきなのだろうか。そのひとつは冒頭に述べた犯罪のない「安全・安心な社会」の実現だろう。それは一企業の努力だけでは、到底実現できるものではない。当然警察や政府・地方自治体との連携も必要になるだろう。しかし、競争関係にある企業同士にとっても、万引窃盗などの犯罪情報や、その予防に必要な知識の共有は、それに資するものである。

知識と情報を共有しよう

繰り返すが、このように「安全・安心な社会」を実現することは、一企業の努力では不可能である。特に小売店舗を対象とした昨今の集団窃盗や、常習窃盗犯は、インターネットの匿名マーケットプレイスを悪用した盗品の現金化などの問題も含めて社会問題化している。今後もこれらの犯罪は、ますます増える可能性が高い。ロス・プリベンション活動における迅速で正確な情報共有の必要性は間違いなく大きくなるに違いない。

そうした環境の変化の中で、小売業とセキュリティ対策に関するサービスを提供する企業は、一丸となってこれに取り組むべきであり、そのためには、第一にロス・プリベンションについての知識の共有が求められる。

今までロス・プリベンションという言葉さえほとんど聞くこともなかった日本国内に、昨年7月に「ロス対策士検定資格制度」が誕生した。これは、ロス・プリベンションに関係するすべての人々を対象とした資格試験制度である。これまでにチェーンストア小売業やロス対策に関係するサービスを提供する企業などに従事する者300名以上が合格し、「認定ロス対策士」の資格を取得した。現在、彼らはそれぞれの分野でロス対策（ロス・プリベンション）に取り組んでいる。

このようなロス・プリベンション活動の基礎となる知識の共有は、多くの企業間の「協力・協働」への第一歩となるに違いない。また、顧客と従業員を含む地域社会に貢献すること、それと同時に企業収益の改善を実現させることのできるこの活動に、多くの関係者が賛同し、取り組まれることを期待したい。

☆新たな知識と情報を共有に向け、フェイスブックにてロス対策士のための専用コミュニティを立ち上げました。好評です！フェイスブック上で「ロス対策士コミュニティ」と検索ください。



☆ロス対策士検定試験制度については万防機構のHPを参照ください。

☆ロス・プリベンションを推進する当工業会として、ロス対策士取得に向けての報奨制度を新設しました。今回の第3回ロス対策士検定合格者30名に図書カードを贈ります。今後も継続する予定です♡♡♡

JEAS ロス対策士受験セミナー＆報奨制度の案内 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211129-1.pdf>

新規会員あいさつ

賛助会員



株式会社 アスラボ 代表取締役 羽生田和正

株式会社アスラボ（Advanced Security Laboratory）は、情報セキュリティと個人情報保護の安全管理のご支援を主力とする企業です。具体的には情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）や個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の導入支援コンサルと監査及び社員のセキュリティ意識向上研修などを得意分野としております。

特にPIA（Privacy Impact Assessment）については先行技術を保有しており、皆様の事業のお役に立てるものと思いますので、お気軽にお声をおかけください。

Marubeni 丸紅株式会社 情報・不動産本部 本部長付部長 永井直彦

丸紅株式会社は1858年に創業した総合商社です。世界中に133の拠点をもち、グループ社員45千人超のグローバル企業となっております。

丸紅グループのあり姿は「Global crossvalue platform」であり時代が求める社会課題を先取りし、事業間、社内外、国境、あらゆる壁を突き破るタテの進化とヨコの拡張により、社会・顧客に向けてソリューションを創出する所存ですので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

新担当者あいさつ

会社名：アクシスコミュニケーションズ株式会社

役職：事業開発本部 シニアマネージャー 氏名：森川 真次氏

お仕事内容：基本的にはリテール業界において、弊社製品の普及・新パートナー開拓と新規事業開発
期待すること：日本では遅れてるといわれる小売業での万引防止 IT 化を声高く普及してほしいです。

会社名：パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社

役職：セキュリティソリューション推進部 SE 係 係長 氏名：新井 浩樹氏

お仕事内容：セキュリティカメラを軸とし、AIを活用した新たなソリューションの企画・推進を行っております。

期待すること：顔認証が正しく使用されれば、安心安全で快適な生活を支えてくれるということを広く知ってもらいたいです。最近では富士急行株式会社様でテーマパークの入場～周遊バスの乗車に顔認証を使って頂くなど地域・お客様と一緒に顔認証利用の実証実験を行っております。流通小売のお客様とも顔認証安全利用の実証を行っていただければと思っております。

富士急行株式会社様事例 <https://biz.panasonic.com/jp-ja/case-studies/fujiky>

セキュリティショー2022に参加& JEAS セミナー開催

令和4年3月1日（火）～4日（金）に開催される日本経済新聞社主催のセキュリティショー2022に出展し各社の商品紹介を行います。会場は東京ビッグサイト東展示棟 小間番号 SS3139です。

JEAS セミナーも令和4年3月3日11:30～12:20（50分間）に開催します。

タイトル：AIカメラの最新導入事例と個人情報等の安全対策（仮称）

登壇：アースアイズ社事例（不審動作検知）、AWL社事例（画像のマーケティング利用）、JEAS安全利用の取り組み紹介（推奨顔認証システム制度、科学保安講習会制度）

登壇者：アースアイズ株式会社 代表取締役 山内 三郎氏
AWL株式会社 代表取締役社長兼 CEO 北出 宗治氏

司会：山本健二カメラ画像安全利用推進委員会 WG長（グローリー株式会社）

※昨年はコロナ感染予防のためセミナー会場参加を50名ほどに限定しましたが、オンラインでは300名以上の参加がありました。



海外から来られた新たな仲間（No. 3）

「業界で活躍する女性の紹介」は、現在までに10人の方々をご紹介いたしました。新たに「海外から来られた新たな仲間」を開始しており、今回は3人目の紹介をします。まだまだ日本社会は多様性（延いては持続性）に関し寛容でない部分が散見されます。それを改善するための企画です。

株式会社エイジス D.O. 支援室 ダン・テイトゥイガーさん

ベトナムから日本に留学し、株式会社エイジスでアルバイトから始めて正社員に登用された彼女は、同僚からは、「ガー」さんと呼ばれています。実地棚卸の現場から始め、スーパーバイザー資格を取得。

現在は、アルバイト留学生の採用研修やベトナム語でのマニュアルや研修資料を作成するなどを行っています。アルバイトの留学生の知識や経験を共有できるように交流会を企画実施するなど積極的に仕事に取り組んでいます。

日本語学校に通いながら、エイジスのアルバイトとして働き始めたガーさんは、夜間、棚卸作業、昼間は学校という忙しい毎日を過ごしていましたが、決して授業中に眠ることはなかったそうです。

ベトナムにいる両親や兄弟に日本への旅行を計画していましたが、コロナの影響で実現しませんでした。来年はその計画を実行したいとガーさんは考えています。

日本の好きなところは、海の景色や花といった自然です。特にバラが好きです。横浜に勤務しており、江ノ島で海水浴を楽しんだそうです。アニメやゲームは他の留学生には人気がありますが、ガーさんは全く関心がなく、日本の映画を観て、もっと日本語が上手になりたいと考えています。

これからは、財務や人事などの業務を勉強して、仕事の幅を広げていき、将来はベトナムのエイジスの力になりたいと考えています。



「海外から来られた新たな仲間」

万引防止システムの業界には、海外から来日された方々、帰化された方々がいらっしゃいます。互いの理解を深めることで、温かな人間関係作り、生産性向上、その先にある社会の持続的再生産に貢献したいと思えます。万引対策等の防犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている海外から来られた新たな仲間を紹介いただきたく、お願い致します。

工業会 日本万引防止システム協会 総務委員会

工業会 JEAS セミナー

■令和3年9月29日（水）20周年記念講演会・JEAS 技術セミナーを開催し、ご来賓を含め35名の皆様にご参加いただきました。第1部は電波法、電気用品安全法、医療機器との干渉試験などについて、技術基準委員会より説明を行いました。第2部は東京都立大学名誉教授、多氣昌生先生による「EAS 装置からの磁界の人体暴露と安全性」と題したご講演が行われました。総務省や電磁界センターや北大の専門家の皆様も参加されました。資料は会員ページに e_23 にあります。

■令和3年10月22日（金）第2回推奨顔認証システム認証式＜マスク対応プラス＞pdficon と第1回科学保安研修会を開催し、受講者32名を中心に来賓や報道機関や講師など50名程（オンライン参加者含む）が参加しました。

■令和3年10月28日（木）15：10～15：40「リテールテック OSAKA 2021」会場内の特設ステージで「画像等個人情報の越境問題とデータ利活用」を開催しました。講師は（一財）日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 常務理事 坂下哲也様

当日のセミナー資料：<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211028.pdf>

なお、リテールテック OSAKA 2021（開催は10月28日～29日）ではリテールテックに初出展し、西日本の皆様の多数のご来場をいただきました。

■令和3年11月11日（木）20周年記念・DX 推進行事として神保拓也氏を講師に「心に火を灯す」セッションをオンライン開催し、約30名が参加されました。終了後、自由参加の宵カフェ6（オンライン）を開催し、業界の未来を語りました。

■令和3年12月13日（月）ロス対策士受験1カ月前セミナーを開催しました。講師は近江副会長が担当しました。会員だけでなく小売業の皆様にも参加いただきました。アーカイブを含めると100名以上の参加となりました。「ロス対策士試験」に臨まれる皆様に向けて、JEAS 初の報奨制度を準備しました。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211129-1.pdf>

15分勉強会

■令和3年7月8日（金）近江副会長に『基礎からわかる！「商品構成グラフ」』について講義いただきました。

■令和3年9月10日（金）第3回理事会を開催し、丸紅（株）が賛助会員として承認されました。15分間勉強会は、Walmart、Amazon、トライアルカンパニー等のレジカートを使った精算方法などを学びました。

■令和3年12月10日（金）（株）SGST 山本裕司氏よりの「レストランで導入が進む配膳ロボット」事例の紹介をいただきました。資料は会員ページ d_29 に保存しました。

■令和4年2月3日（木）「AI 導入に活かす！失敗から学ぶ統計調査とその活用」 講師 佐藤聖顧問

* * * * *

編集後記・事務局だより

昨年は、延期となっていた「2020東京オリンピック・パラリンピック」が無観客ではありますが開催され、日本選手の活躍など、あらためてスポーツの良さ、大切さが身にしみた1年でした。

また、大谷選手が、二刀流という職業野球の常識を打ち破ることに挑戦し、メジャーリーグで大活躍した年でもあります。

本年は、冬季のオリンピックが北京で開催されます。夏季・冬季が初めて、同じ場所で開催されることになりました。今回も、参加される選手の活躍を楽しみにしたいです。

当工業会も、各社の不断の経営努力や、新しい企業の参加などにより、今までの常識にとらわれることなく、常に、ユーザー様の安心・安全のための活動ができればと祈念します。 理事・事務局長 田丸典億

工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

- 万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
- 今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
- 万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
- 万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

- 小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業
- 小売業にサービスを提供している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>

新規入会企業および団体を募っています。

- ◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様
- ◎万引防止対策やロス対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様
- ◎生産性向上や危機管理の分野で流通業をサポートされている企業の皆様

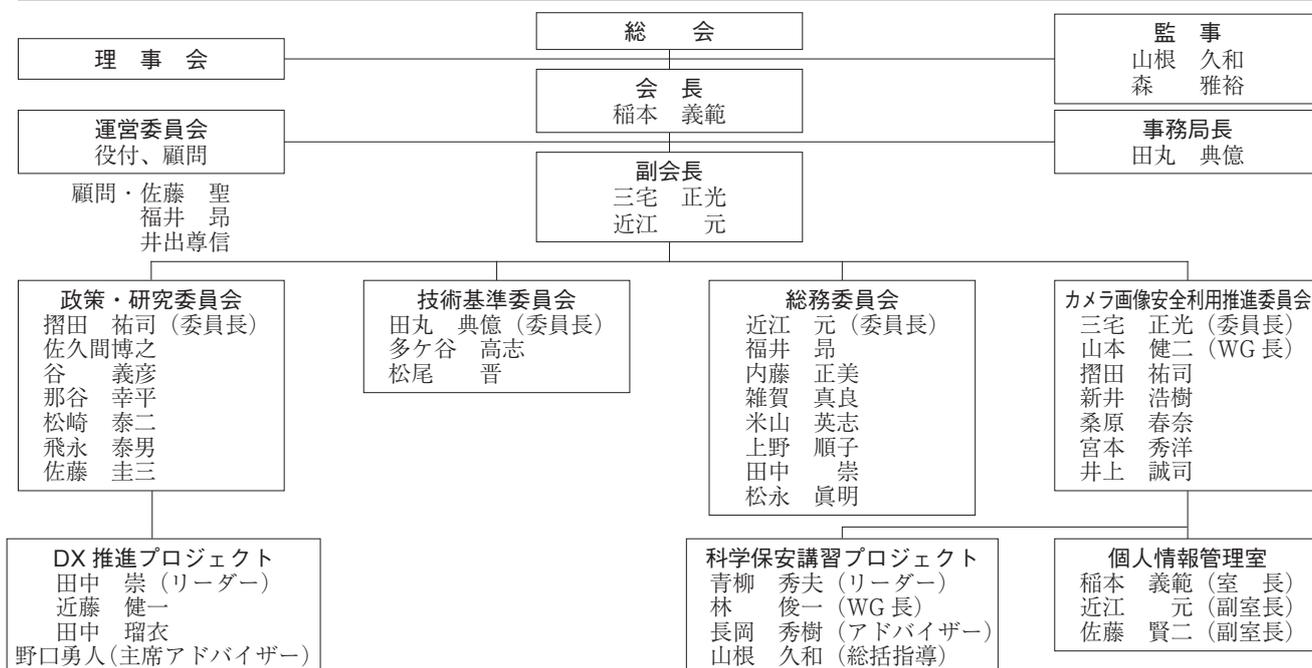
令和3年度 工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易 (株)	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	(株) 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	理事 (政策・研究委員会)	IDEC ファクトリーソリューションズ (株)	セールスマーケティング本部 EAS 事業部 部長	谷 義彦
5	理事 (政策・研究委員会)	キャトルプラン (株)	代表取締役社長	佐藤圭三
6	理事 (政策・研究委員会)	(株) セキュリティデザイン	資材購買部長	那谷幸平
7	理事 (政策・研究委員会)	(株) 店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
8	理事 (政策・研究委員会)	日本電気 (株)	関東甲信越支社 産業第二営業部	摺田祐司
9	理事 (政策・研究委員会)	ビブリオテカ・ジャパン (株)	営業部部長	松崎泰二
10	理事 (総務委員会)	マイティキューブ (株)	代表取締役社長	本川勝広
11	理事 (総務委員会)	(株) オカムラ	商環境事業本部 セールスサポート部	雑賀真良
12	理事 (総務委員会)	(株) エイジス	新規事業推進室長	米山英志
13	理事 (総務委員会)	NECソリューションイノベータ (株)	九州支社第二グループ 主任	上野順子
14	理事 (事務局長、技術基準委員会)	タカヤ (株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
15	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	グローリー (株)	国内カンパニー営業本部 画像認識ソリューション推進統括部 生体・画像認識販売企画部 販売企画グループ グループマネージャー	山本健二
16	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	(株) GeoVision	企画営業部チーフ	桑原春奈
17	理事 (個人情報管理室)	(株) ゴジョウ・ウェイズ	代表取締役社長	佐藤賢二
	監事	Matsuo Sangyo (株)	執行役員統括部長	森 雅裕
	監事	セフトHD (株)	代表取締役社長	山根久和

敬称略・順不同

顧問 佐藤 聖 (一財) 流通システム開発センター 元調査部長、福井 昂 マイティキューブ (株)
井出尊信 高千穂交易 (株) 代表取締役社長

令和3年度 工業会 日本万引防止システム協会 組織図



愛するお店・地域の皆様のお役に立ちたいという会員総意の決意
“つながる心”をもって、進むべき道を決めてきた
20年もの歳月、支え続けていただいた皆様への感謝、という燈明を持って
つながる心で、この道を照らし歩き続けていく

～ 防犯民主主義実現に向けて ～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会
工業会 日本万引防止システム協会

正会員

(正会員数 33社)

アイアンドティテック(株)	(株)セキュリティデザイン
IDECファクトリーソリューションズ(株)	CIA(株)
AWL(株)	(株)GeoVision
アクシスコミュニケーションズ(株)	シグマ(株)
アースアイズ(株)	セコム(株)
アドセック(株)	セフトHD(株)
(株)エイジス	高千穂交易(株)
(株)SGI	タカヤ(株)
NECソリューションイノベータ(株)	チェックポイントジャパン(株)
エム・ケー・パビック(株)	(株)店舗プランニング
(株)オカムラ	日本電気(株)
(株)キャトルプラン	パナソニックシステム
(株)杏林社	ソリューションズジャパン(株)
グローリー(株)	ビブリオテカ・ジャパン(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ	マイティキューブ(株)
(株)KSM	Matsuo Sangyo(株)
サクサ(株)	(株)三宅

賛助会員

(株)アスラボ	三愛化成商事(株)
垂細垂印刷(株)	チェスコムアドバンス(株)
沖電気工業(株)	(株)日本保安
サニーヘルス(株)	丸紅(株)
(株)JSS	(株)ロケット
(株)自己啓発協会	

特別会員

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&パック事務局

お蔭さまで全会員数が51組織になりました。

(2021年9月10日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会

委員長・副会長 三宅 正光



推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な
利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム
提供者側の販売指針を発表することで、カメ
ラ画像の適切な利用促進に向けての環境整
備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像
認識システムの安全利用のお勧め」を制作。
令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会

委員長・事務局長 田丸 典億



EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験
を実施することになり、その方法等の内容を検
討し実施するために、技術基準委員会が設置
された。

- ① 対ペースメーカー等との干渉実験
- ② 電磁界測定
- ③ 電気用品安全法対応
- ④ 各種の基準作り

政策・研究委員会

委員長・理事 摺田 祐司



調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普
及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

JEASとして、取り上げるべき問題・課題の
検討を行い、その結果を委員会の責任にお
いて、行政機関・関連団体・報道機関等
に対し建議および提言・アピールを行う。

総務委員会

委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。
事務局と密接な関係を保ちながら主として
次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の
起案と見直し、他の委員会に所属しない業
務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に
応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉
強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会

会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

工業会 日本万引防止システム協会会報第36号

□発行日：2022年2月11日 □発行人：稲本義範
□発行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
ホームページ <https://www.jeas.gr.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
メルマガ <https://www.jeas.gr.jp/mail.html>
法人番号：9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム
全般に関するご相談の窓口を開設しております。
ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止シス
テムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。
ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務
局宛となります。